

行政事業レビューシート (文部科学省)

予算事業名	大型混合酸化物燃料加工施設保障措置試験研究委託費		事業開始年度	平成13年度		作成責任者
担当部署	研究開発局		担当課室	開発企画課 核不拡散・保障措置室		核不拡散・保障措置室 室長 木村 直人
会計区分	エネルギー対策特別会計(電源開発促進勘定)		上位政策	原子力分野の研究・開発・利用の推進		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	特別会計に関する法律施行令 第51条第6項		関係する計 画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	<p>○大型MOX燃料加工施設に適用する保障措置手法を確立するため、施設の設計・建設の進捗に合わせて施設に適用する保障措置機器類を開発するとともに、これら機器類で測定されるデータを収集・評価する保障措置システムを構築する。</p> <p>※保障措置とは、核物質が平和目的だけに利用され、核兵器等に転用されないことを担保するために行われる検認活動のことである。</p> <p>※我が国は、昭和52年に国際原子力機関(IAEA)との間で保障措置協定を締結し、IAEAによる保障措置を受け入れている。</p>					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	<p>○大型MOX燃料加工施設では、新技術の導入により運転の自動化が進むとともに、大量の核物質を取り扱うことから、既存の保障措置技術に加え、新たな技術を適用し、有効な保障措置システムを構築することが重要である。</p> <p>○このため、適切な保障措置手法が合理的に適用されるように、施設の設計段階から考慮を払い、各種保障措置要素技術を総合的に開発し、新規保障措置システムの最適な適用を図る。</p>					
実施状況	<p>○大型MOX燃料加工施設の設計情報に基づき、保障措置の適用の仕方について検討を行うとともに、これに基づく保障措置システムを構築するために必要な機器類を開発している。今後、開発した機器の性能確認試験を行い、適用上の課題の有無について試験検討を行う予定である。また、施設建設の進捗状況に合わせ、開発した保障措置機器を施設に設置し、核燃料物質を使用した施設の工程確認試験時に、保障措置機器の最終的な性能確認試験を行う予定である。</p>					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	201	275	296	135	135
	執行額	201	246	286		
	執行率	100.0%	89.5%	96.6%		
	総事業費(執行ベース)	196	247	287		
自己点検	支出先・ 用途の把握水準・ 状況	<p>○事業実施前において、受託者から提出される業務計画により、その内容や予定経費について把握している。</p> <p>○事業終了後においては、当該委託費の額の確定調査を現地にて実施し、受託者側の支出関係の証憑類をもとに用途を把握している。</p>				
	見直しの 余地	<p>○大型MOX燃料加工施設の安全審査に時間を要したことから施設の建設開始が遅れていたが、本年5月に加工事業が許可され施設の工事計画が改定されたため、これに併せ本事業の計画の適正化を行い本事業費の合理化を検討する。</p> <p>○今後の性能確認試験及び機器の設置に際しては、保障措置機器の共同使用者となるIAEA及び設置される施設及び受託者も含め関係者間の会議を定期的に行うこと等により緊密な連携体制を構築し、事業の効率化を図る。</p> <p>○応札者の参入を更に促すため、過度な入札条件の禁止、公告期間の確保、分かりやすい仕様書の作成に努める。</p>				
予算・監 査・視 の・効 率化 の見 率化	<p>1. 事業評価の観点:この事業は、大型MOX燃料加工施設に適用する保障措置手法を確立するため、施設の設計・建設の進捗に合わせて施設に適用する保障措置機器類を開発するとともに、これらの機器で測定するデータを収集・評価する保障措置システムの構築を進める事業である。</p> <p>2. 所見:本事業は5年以上の継続事業である。事業の継続の必要性は認められるものの、これまでの事業の成果を適切に検証し、より効果的な事業の実施方策等について検討するとともに、経費の効率化により予算を縮減すべきである。また、応札者の参入を促すため競争参加条件等のより一層の見直しを図るなど、契約の競争性、公平性、透明性の確保等により、事業の効率化を一層進めるべきである。</p>					
補 記	平成21年度の予算額・執行額には繰越分を含む					

文部科学省
286百万円

最小限の支出で適切な保障措置手法が合理的に適用されるように、各種保障措置システムの開発及び新規保障措置手法の最適な適用を図るための技術開発を委託。

【一般競争入札・委託】

A. 大型混合酸化物燃料(MOX燃料)
加工施設保障措置試験研究

交付総額: 286百万円
委託先: (財)核物質管理センター

大型MOX燃料加工施設及び取り扱われる核燃料物質、当該施設に課せられる保障措置手法に係る情報に基づき、各保障措置機器の製作・輸送・設置架台の設計及び製作、データ収集や評価システムの詳細設計を実施。

(注)

本件21年度委託業務のうち、測定装置の製作については、IAEAとの合同技術委員会にて、当該装置におよぼす影響等について検討を行う必要が生じたこと等のため、その製作にあたり約3ヶ月の遅れが見込まれたため、本来単年度の業務計画である平成22年3月の終了予定から、平成22年6月まで期間延長した。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.(財)核物質管理センター			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
人件費	装置の設計・製作関係従事者	42			
業務実施費	雑役務、旅費 等	218			
一般管理費	上記直接経費の10%	26			
計		286	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。
 使途と費目の
 双方で実情が
 分かるように記
 載)